

学報

2016 年 11 月 Vol. 711



保育園児がハロウィンの仮装で
学長室を訪問（10月31日）

平成28年度秋季岐阜大学大学院連合農学研究科並びに連合獣医学研究科入学式を挙行	01
ベトナム・ゲアン省農業担当者ら一行が森脇学長を表敬訪問	02
女性研究者キャリアパス支援講演会【「居場所」のない男と「時間」がない女】～女性（研究者）が仕事を続けていくうえで、現代社会にどのような問題があるのか～を開催	03
平成28年度「科研費」審査委員表彰を受賞	04
養老町と連携に関する協定を締結	05
岐阜大・FC岐阜 環境連携事業「岐阜う ^{まい} 米プロジェクト」第2弾「稲刈り&稲架 ^{はき} 掛け」を開催	06
産学金官連携人材育成・定着プロジェクト「企業実習」のバス出発式を実施	07
森脇学長が第1回日本・カンボジア学長会議に出席	08
応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」を開講	10
医学教育開発研究センター（MEDC）が第62回医学教育セミナーとワークショップを開催	12
アッサム大学長らが本学を表敬訪問	13
広西大学（中国南寧市：大学間協定校）で「岐阜大学フェア in 広西大学」を開催	14
平成28年度第6回学長記者会見を実施	15
第68回岐大祭を開催	16
保育園児がハロウィンの仮装で学長室を訪問	18
学位授与	19
表彰受賞者	20
外国人研究者の受け入れ	22
産官学連携の実施状況	23
メディア掲載一覧	25
諸会議	29
主要日誌	31
人事異動（学内限定）	32

平成28年度秋季岐阜大学大学院連合農学研究科並びに連合獣医学研究科入学式を举行

平成28年度秋季岐阜大学大学院連合農学研究科並びに連合獣医学研究科入学式を、10月3日（月）に岐阜大学連合大学院棟教育研究情報交換システム室、研究科長室においてそれぞれ举行した。

入学式では、研究科長より式辞が述べられ、新入生への激励の言葉が送られた。

両研究科の入学者数は下記のとおり。

連合農学研究科 博士課程 7名

連合獣医学研究科 博士課程 5名



千家連合農学研究科長による式辞



会場の様子

ベトナム・ゲアン省農業担当者ら一行が森脇学長を表敬訪問

10月4日（火）、ベトナム・ゲアン省農業農村開発局のグエン・ティエン・ドゥック栽培・植物保護部門長及びティン・チャック・ラム植物保護部門植物保護課長が、学長表敬訪問と農業技術交流に係る現地視察のため、岐阜県関係者とともに本学を訪問した。

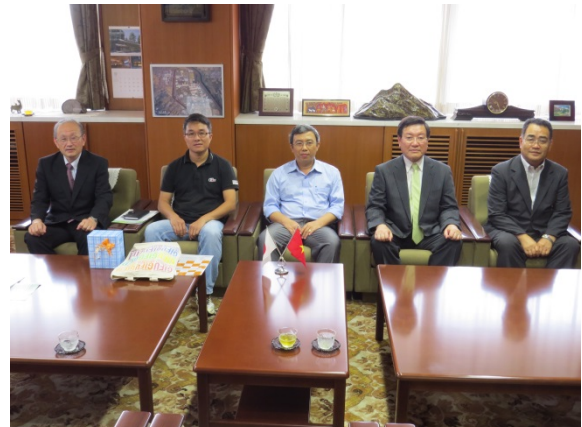
平成27年11月、岐阜県は同省と「岐阜県とゲアン省人民委員会との友好協力に関する覚書」を締結して以来、相互の発展を目指した連携協力が進められており、このたび本覚書の協力分野の一つである「農業」の技術交流を推進するため、同省から2名が、本学を訪れることとなった。

懇談では、将来予定されている応用生物科学部におけるゲアン省からの農業研修生受入について、また、両者が共に掲げる「農業に関わる優秀な人材育成」という目標に向けて、相互に協力を続けていくことが確認された。

学長表敬訪問の後には大学内の視察及び留学生と情報交換が行われ、今後の両者の協力関係を深めるうえで非常に有意義な機会となった。



懇談の様子



集合写真

（左から）鈴木理事、ティン課長、
グエン部門長、森脇学長、
福井応用生物科学部長

女性研究者キャリアパス支援講演会【「居場所」のない男と「時間」がない女】～女性（研究者）が仕事を続けていくうえで、現代社会にどのような問題があるのか～を開催

10月4日（火）、サテライトキャンパスにおいて、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクトの一環として、「女性研究者キャリアパス支援講演会」を開催した。

講師には、社会学者にして詩人である水無田気流（みなした きりう）氏を迎え、「「居場所」のない男と「時間」がない女 ～女性（研究者）が仕事を続けていくうえで、現代社会にどのような問題があるのか～」というタイトルで講演が行われた。

講演では、女性問題、少子化、男女の関係のあり方等について、多様な視点や豊富なデータに基づいた分かりやすい説明があり、参加者は熱心に聞き入っていた。

本学教職員をはじめ、連携機関の教職員や研究者、一般市民の方61名の参加があり、女性が仕事を続けていくうえでの課題を認識し、今後の事業主体や社会のあり方等を考える非常に良い機会となった。



会場の様子（林副学長による開会挨拶）



講師の水無田 気流 氏

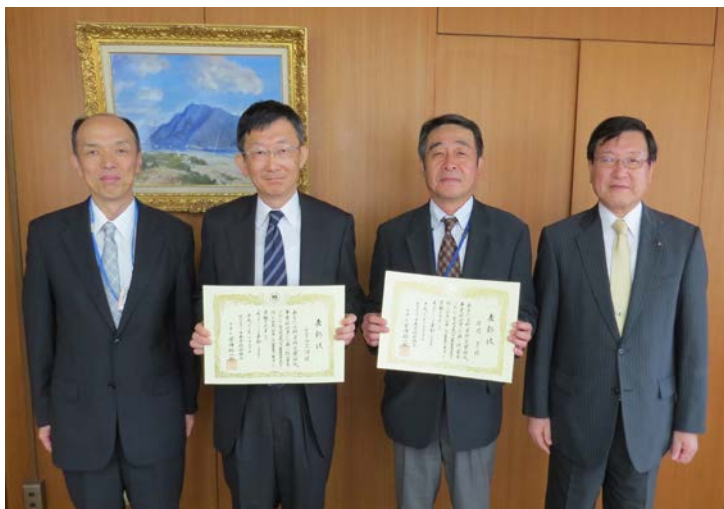
平成28年度「科研費」審査委員表彰を受賞

本学医学系研究科 岩間 亨教授及び工学部 小宮山 正治教授の2名が、独立行政法人日本学術振興会から平成28年度「科研費」審査委員表彰者に選考された。

独立行政法人日本学術振興会は、学術研究の振興を目的とした科学研究費助成事業（科研費）の審査の質を高めるため、審査結果の検証を行い、その結果を翌年度の審査委員の選考に適切に反映している。また、平成20年度から、検証結果に基づき模範となる審査意見を付した審査委員を表彰しており、平成28年度は約5,700名の第1審査（書面審査）委員の中から268名が表彰者として選考された。本学では平成26年度に続き2年ぶりの表彰となった。

表彰式は10月14日（金）に学長室にて行われ、森脇学長から岩間教授及び小宮山教授に表彰状が手渡された。

森脇学長からは「研究推進の上では名誉なことであり、また、今後は評価能力を生かし、指導する立場で頑張ってもらいたい」と祝いの言葉があった。表彰後は森脇学長、福士理事と各受賞者との間で、科研費の審査制度や適切な審査方法といった話題について、終始和やかな雰囲気のもとで懇談が行われた。



受賞者記念撮影（左から、福士理事・副学長（学術研究・情報担当）、小宮山教授、岩間教授、森脇学長）



懇談の様子

養老町と連携に関する協定を締結

本学と養老町は、10月14日（金）に連携に関する協定を締結した。

この協定は、本学と養老町が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力のある地域社会の形成及び発展、未来を担う人材育成に寄与することを目的としている。なお本学が地方公共団体と連携協定を締結するのは今回で19件目のこと。

協定締結式では、大橋孝養老町長より「少子高齢化や人口流出に直面する中、岐阜大学にはまちづくり、教育、健康、医療などの分野で特に期待している。大学との絆を強固にすることで、変化の激しい時代を乗り越えていきたい」と、森脇学長からは「養老町は長い歴史と本質的に優れた観光資源を持つ町。養老ブランドの確立やまちづくりの点では学生のアイデアにも期待したい」と挨拶があった。

今後養老町とは、特色ある幼児期保育や教育の充実、地域資源を活用した養老ブランドの確立、空き地・空き家の活用、防災に関する人材育成、まちづくり人材の育成や地域活性化のためのワークショップ等の開催等について取り組むため、協議を進めていく予定。



協定を締結し、握手を交わす森脇学長（右）と大橋養老町長

岐阜大・F C岐阜 環境連携事業「岐阜う^{まい}米プロジェクト」第2弾「稲刈り&稲架^{はき}掛け」を開催

10月20日(木)、「岐阜大学と岐阜フットボールクラブとの環境保全における連携に関する覚書」に基づき、岐阜う^{まい}米プロジェクトの第2弾「稲刈り&稲架^{はき}掛け」を応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター北農場で行った。

「岐阜う^{まい}米プロジェクト」とは、お米ができる自然環境をより身近に感じ、環境保全について考えてもらうことを目的に、田植えから収穫までを本学とF C岐阜とが協力して行っている事業。

この日は、F C岐阜から、FW鈴木ブルーノ選手及びMF青木翼選手を招き、本学からはフィールド科学応用実習を受講する学生20名が参加した。

収穫したのは、今年5月に岐阜う^{まい}米プロジェクト第1弾「親子田植え体験&どろんこサッカー」で小学生が田植えをして実りを迎えた稲で、品種は岐阜県特産の「ハツシモ」。参加者は、秋晴れの空のもと、応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター職員の指導を受けながら、稲を刈り取った。

作業終了後、選手と学生が交流する機会として、サイン会を開催し、学生らは一人ひとり、選手と和やかに会話をしながら親睦を深め、サインを手に喜ぶ姿が見られた。

この日収穫したお米は、農場の販売所で11月より販売するとともに、F C岐阜の選手にも贈呈する予定。



参加者全員で記念撮影

産学金官連携人材育成・定着プロジェクト「企業実習」のバス出発式を実施

10月20日（木）、柳戸会館前ロータリーで、産学金官連携人材育成・定着プロジェクト「企業実習」のバス出発式を行った。

これは、企業に学生を派遣して生産現場での演習を通して実践的な経験を積む工学部の授業科目「機械工学創造演習」の、第1回目の企業実習に先立って行われたもの。

本事業は、岐阜県の「産学金官連携人材育成・定着プログラム」の一環で、県内企業の魅力を伝え地元企業への定着を図る取り組みとしても注目されており、実習には本学工学部機械工学科3年生の学生が参加する。

出発式では、県内13企業を代表して株式会社ナベヤの岡本社長から「中堅中小企業の経営のダイナミズムを味わって、将来的にはトップマネジメントを担う人材となることを期待しています」と激励のメッセージがあった。

現地実習は来年1月下旬まで行われ、2月には、成果発表会を計画している。



王副学長による挨拶



岡本社長による激励のメッセージ



学生代表から抱負が語られました

森脇学長が第1回日本・カンボジア学長会議に出席

10月20日（木）、21日（金）に、カンボジア王立プノンペン大学カンボジア日本人材開発センター（カンボジア王国プノンペン市）において、第1回日本・カンボジア学長会議が開催され、本学から森脇学長、高木 朗義 教授（工学部）、平松 研 教授（応用生物科学部）、菅谷国際企画課長が参加した。この学長会議は、日本とカンボジアの大学による学術交流の更なる推進を目的として、名古屋大学とカンボジア王立プノンペン大学の共催で本年度初めて開催されたもの。

日本側からは、本学をはじめ12大学、文部科学省、日本学術振興会バンコク事務所が、カンボジア側からは20大学が参加し、次の3つのセッションで参加大学による意見交換が行われた。

- セッション1 日本とカンボジアの大学の教育・研究交流
- セッション2 カンボジアにおける大学教員の質（教育研究力）
- セッション3 学生のキャリア支援

本学は、森脇学長がセッション3において流域水環境リーダー育成プログラムを紹介した。当プログラムは発展途上国が直面する水質・水資源・農業灌漑用水・生態などの極めて深刻である流域水環境分野の問題を多角的な視野で的確に理解し、戦略的な解決策と発生防止策を設計・施行する環境リーダー（国内リーダーと国外リーダー）を育成するもの。これまでにカンボジア出身の留学生3名がこのプログラムで学び、現在はカンボジアに帰国し、本学で学んだ技術等を活かして環境省等国家の中核となる機関で活躍している。修了生のうち今回は、Mr. Va Vuthy さん、Ms. So Thavin さんの2名が現地で行われたカンボジア日本留学生同窓会に参加し、それぞれの指導教員である高木教授、平松教授との再会を果たし、今後の学術的交流について意見交換がなされた。



集合写真



講演する森脇学長



同窓会の様子

(左から平松教授、So Thavin さん、森脇学長、Va Vuthy さん、高木教授)

応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」を開講

応用生物科学部では生物分野の体験型学習を通し、中学生に理科への興味・関心を深めてもらうことを目的とし、昨年度に引き続き、10月22日（土）に応用生物科学部公開講座「中学生のための体験科学講座」を開講した。

東海三県の中学校を中心に、生徒25名、保護者7名の総勢32名の参加があり、『小さな世界を覗いてみよう』（応用生命科学課程）、『土の中の微生物』（生産環境科学課程）及び『寄生虫の世界をのぞいてみよう』（共同獣医学科）の3講座のうち、希望した講座に分かれ、大学教員指導の下、食べ物の細胞の観察、土の中の微生物の観察、寄生虫の観察・標本作りなどを行った。中学生は、目の前で起こる現象の“不思議”や“疑問”に対して、講座教員へ積極的に質問するなど、有意義な理科実験を体験した。

当講座修了にあたり、福井学部長から受講者一人ひとりに修了証書が授与された。

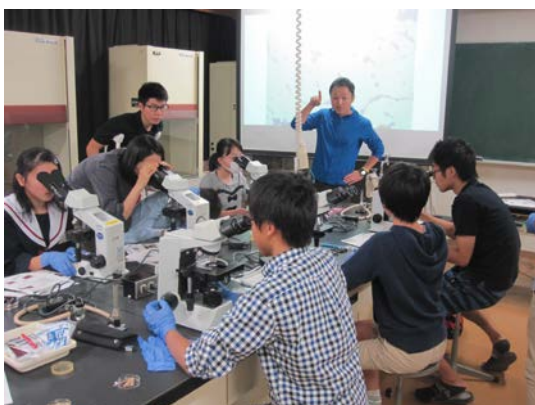
参加した中学生、保護者の一部は、体験科学講座のほか、学食体験ツアーにも参加し、当日の昼食を学食でとるなど、岐阜大学生の生活の一部にも触れることができ、貴重な体験の場となった。



開講式の様子



『小さな世界を覗いてみよう』講座



『土の中の微生物』講座



『寄生虫の世界をのぞいてみよう』講座



閉講式



修了証授与の様子

医学教育開発研究センター（MEDC）が第62回医学教育セミナーとワークショップを開催

医学教育開発研究センター（MEDC）は、兵庫医科大医学教育センターとの共催で、10月22日（土）から23日（日）の2日間にわたり、第62回医学教育セミナーとワークショップ in 兵庫医大を開催した。3年ぶりの関西での開催となり、全国各地から総勢196名の参加者・講師が集い、公募を含め計7つのワークショップと2つのパネルディスカッション、セミナーを実施した。

ワークショップは、模擬患者交流、海外臨床実習、CBRマトリックス、TBL、リサーチマインドの涵養、シナリオ作成、学生のキャリア意識醸成など、多彩なテーマの教育について活発な議論が行われた。

セミナーは多職種連携教育ツール iPED（Interprofessional education device）を開発した名古屋大の肥田 武 助教から「多職種連携教育ツール iPED による学生教育と患者教育の接続 ―参加者インタビューの質的分析―」と題した、小規模トライアルの効果を質的に分析した結果について講演があった。また、パネルディスカッションでは、教学 IR を行う上でのさまざまな課題と、医学教育分野別認証で何を評価されるかについて討論や情報共有がなされ、充実したディスカッションとなった。



ワークショップ「模擬患者大交流勉強会」の様子

アッサム大学長らが本学を表敬訪問

10月25日(火), アッサム大学(インド) Nath(ナス) 学長及び Panda(パンダ) 教授が本学を表敬訪問し, 森脇久隆学長, 鈴木文昭理事(国際・広報担当), 千家正照連合農学研究科長, 小山博之学長補佐, 光永徹連合農学研究科長補佐と懇談を行った。

アッサム大学生命科学部と連合農学研究科とは平成24年7月19日に部局間学術交流協定を結んでおり, アッサム大は IC-GU12(南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム)の加盟大学。

学長表敬訪問では, アッサム大と本学との大学間交流協定に向けた懇談及び全学的な教育連携ができるよう協力を進めていくことが話し合われた。

また, 連合農学研究科においては, 部局間学術交流協定に基づき, 両大学間の博士課程の学生, 研究員及び教職員の交流促進を発展させるため, ダブル PhD デイグリープログラムの実現に向けて活発な意見交換が行われた。



学長室での記念撮影

(前列左から2番目が Nath 学長,

3番目が森脇学長)



連合農学研究科長室での懇談

広西大学（中国南寧市：大学間協定校）で「岐阜大学フェア in 広西大学」を開催

10月26日（水）、協定校である広西大学（中国南寧市）で、「岐阜大学フェア in 広西大学」を開催した。

この行事は、本学や岐阜の特徴等を、海外の協定校を会場としたフェアでアピールすることを目的として行われたもので、今回初めて開催されたもの。

当日は、1日を通して、本学を紹介するポスターや大学オリジナルグッズ等の展示が行われ、会場は多くの来場者で賑わった。

また、展示と同時に、福井 博一 応用生物科学研究科長及び若手事務職員から、本学や応用生物科学研究科のダブルディグリープログラム等についてプレゼンテーションが行われた。

福井研究科長からは「教育や研究を通して、互いにより良い連携を強めましょう。」とメッセージがあり、このほか、本学へ留学経験のある広西大学の卒業生からも、プレゼンテーションが行われた。

当フェアの開催に向けて、岐阜大学広西大学内オフィス(海外オフィス)の充実化も図られ、大学の国際化を進める上で、一層の体制作りが進められた。



福井研究科長による説明



展示物の説明をする奥村主任



各学部の説明をする中並係員



岐阜大学オフィス（広西大学内）の入り口

平成28年度第6回学長記者会見を実施

10月26日（水）に、平成28年度第6回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「生命の鎖統合研究センター」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行った。

その後、詳細について、同センターの石田センター長から説明を行った。

本学は、第3期中期目標として「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野において全国的・国際的な教育・研究拠点の形成」を掲げている。

その実現に向けて、学長のガバナンスのもと、教員組織を一元化し、優れた研究者らをトップダウンで研究拠点に集約することにより、強みのある研究分野を発展させる次世代生命科学研究拠点として、10月より「生命の鎖統合研究センター」を設置した。



森脇学長による説明



石田センター長による説明

第68回岐大祭を開催

岐大祭は、学生の正課研究、学術文化活動及び課外活動の祭典として、年間を通した取り組みの成果を学内外に発表し、地域社会とともに考え、より発展させる機会をつくる場であり、毎年、学生が自主的に企画・運営を行い、開催している。

第68回岐大祭 ～輪～

10月27日（木）から10月30日（日）まで、第68回岐大祭が開催された。

今年の岐大祭のテーマは「輪」として、岐阜大学生と地域住民が交流し、いろいろな繋がりをもち、さらにその繋がりを大きくしていきたいとの願いのもとで開催された。

雨天となってしまった日もありましたが、ステージイベント、お笑いライブ、スポーツ大会、屋内企画（作品展など）、フリーマーケット等、多くの企画が学生主体で創り上げられ、多くの方の来場があった。





保育園児がハロウィンの仮装で学長室を訪問

10月31日（月）、ハロウィンの行事として、本学保育園「ほほえみ」の園児の29人が仮装をして、学長室を訪れた。

「トリック・オア・トリート（Trick or Treat ?）」と元気よく学長室に入った園児らは森脇学長に迎えられ、手作りのお菓子箱いっぱいにお菓子を受け取った。

その後、保育園の所管部署である人材開発部を訪れ、部長や部職員からもたくさんのお菓子が渡された。

園児らの笑顔あふれる、秋の楽しいひとときとなった。



学長室での記念撮影



森脇学長からお菓子を受け取る園児ら



人材開発部訪問の様子

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
博士（医学）	乙第1488号	さいとう じゅん 齊藤 純	平成28年10月19日	Increased plasma serotonin metabolite 5-hydroxyindole acetic acid concentrations are associated with impaired systolic and late diastolic forward flows during cardiac cycle and elevated resistive index at popliteal artery and renal insufficiency in type 2 diabetic patients with microalbuminuria（微小アルブミン尿を伴う2型糖尿病患者における5-HIAA（セロトニン代謝産物）の増加は、膝窩動脈における収縮期及び拡張終期の血流障害、抵抗係数の上昇、腎機能障害と相関する）

表彰受賞者

日本地熱学会 論文賞

受賞者：大谷 具幸 工学部 准教授

論文名：「自然条件と社会条件を考慮した地中熱利用の広域的賦存量と導入ポテンシャルの評価方法」

受賞日：平成 28 年 10 月 20 日

岐阜県発明くふう展 岐阜県優秀新製品奨励賞 受賞

受賞者：西本 裕 医学部看護学科 教授

川崎 晴久 工学部 教授

毛利 哲也 工学部 准教授

業績名：2016 年岐阜県発明くふう展において，リハビリテーション支援装置で受賞

受賞日：平成 28 年 10 月 24 日

第 31 回小野木科学技術振興財団 シルバー優秀賞 受賞

受賞者：西本 裕 医学部看護学科 教授

川崎 晴久 工学部 教授

毛利 哲也 工学部 准教授

受賞日：平成 28 年 10 月 24 日

マイクログラビティ応用学会 2015 年度論文賞

受賞者：高橋 周平 工学部 教授

論文名：「【身近な宇宙、落下等による微小重力実験】微小重力環境における薄い固体試料の可燃限界モデリング」

受賞日：平成 28 年 10 月 27 日

土壌物理学会 論文賞

受 賞 者：小島 悠揮 工学部 助教

論 文 名：「気象・土壌観測データと現地画像をリンクした農地 ICT モニタリングの有効性 ―高冷地キャベツ畑における解析事例」

受 賞 日：平成 28 年 10 月 29 日

外国人研究者の受け入れ（10月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
流域圏科学研究センター	レニ デスミアルティ Reni Desmiarti (インドネシア)	ブン・ハッタ大学 化学工学科 学科長・シニア講師 Senior Lecturer, Head of Chemical Engineering Department, Bung Hatta University	2016/10/3～ 2016/12/31	腸管系ウィルスから水道水の安全を確保するためのプラズマ酸化を併用した高度消毒処理技術に関する研究 Enhanced Disinfection for Ensuring Drinking Water Safety Relating to Enteric Virus by Combined Application of Plasma Oxidation
応生	ドーア ハスニ アブデルハディ Doaa Hosny Abdelhady (エジプト)	カフルエルシェイク大学 獣医学部 臨床病理 講師 Lecturer, Department of Clinical Pathology, Faculty of Vet. Medicine, Kafrelsheikh University	2016/10/17～ 2017/4/17	消化管の炎症に対する各種抗炎症剤の効果 Effects of anti-inflammatory drug on inflammation of the gut

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成28年10月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
教育学部	柴田 奈緒美	ライオン(株)
工学部	井上 吉弘	岐阜県工業技術研究所／(株)ナガセインテグレックス
工学部	大矢 豊	岐阜県セラミック研究所／日本耐酸塩工業(株)
工学部	神谷 浩二	太陽工業(株)
工学部	神原 信志	澤藤電機(株)
工学部	國枝 稔	大林(株)
工学部	高木 朗義	(株)デンソー
工学部	高橋 紳矢	カイインダストリーズ(株)
工学部	仲井 朝美	東京製綱(株)
工学部	新川 真人	(公財)科学技術交流財団
工学部	新川 真人	岐阜県工業技術研究所
工学部	守富 寛	(公財)科学技術交流財団
工学部	山下 実	岡野バルブ製造(株)
工学部	尹 己烈	岐阜県工業技術研究所／(株)東海技研工業
工学部	尹 己烈	Hyundai NGV
工学部	横川 隆志	ノボザイムズジャパン(株)
応用生物科学部	勝野 那嘉子	(有)飛騨山椒
応用生物科学部	西飯 直仁	(株)松浦唐立軒/香川大学
応用生物科学部	光永 徹	岐阜県産業技術センター／アピ(株)
連合農学研究科	中野 浩平	岐阜県農業技術センター × 2件
流域圏科学研究センター	玉川 一郎	川崎重工業(株)
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	自然科学研究機構分子科学研究所
教育推進・学生支援機構	船越 高樹	(株)シルヴァンブリーズ

○受託研究

(平成28年10月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	吉田 和弘	(地独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター
医学部附属病院	浅田 隆太	学校法人聖マリアンナ医科大学

医学部附属病院	小関 道夫	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
医学部附属病院	折居 建治	島根大学
工学部	上坂 裕之	国立研究開発法人 科学技術振興機構
工学部	志賀 元紀	国立研究開発法人 科学技術振興機構
応用生物科学部	石田 秀治	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
次世代金型技術研究センター	深川 仁	国立研究開発法人 科学技術振興機構

メディア掲載一覧

○新聞

(平成28年10月分)

掲載日	新聞名	内容
10月1日	中日	輪切りダイコン ギョーザの皮に 生ごみ減らす料理教室 ～教育学部 大藪千穂 教授～
10月1日	岐阜	岐阜大「長良川で必勝」 1, 15 日に東海学生アメフト ～アメリカンフットボール部「ファントムズ」～
10月1日	中日	岐阜大×静岡文化芸術大生が議論 「合同新聞カフェ」詳報 ー後編ー
10月1日	読売	医学部生 初マウンドへ 岐阜大・野本投手 ～硬式野球部 医学部・1年 野本峻二郎さん～
10月3日	読売	初登板で好投 岐阜大・医学部生の左腕 ～硬式野球部 医学部・1年 野本峻二郎さん～
10月4日	中日	ミッキーとミニー 岐阜大病院を訪問 病室でハグや握手 ～医学部附属病院～
10月4日	岐阜	◎研究室から大学はいま:糖尿病の原因遺伝子を分析 ～医学部附属病院第3内科 塩谷真由美 講師～
10月5日	中日	働きやすい社会 学生らが考える
10月7日	岐阜	不登校「叱らず察して」 岐阜市で子どもの健康シンポ 加藤岐阜大大学院教授が講演 ～医学系研究科 加藤善一郎 教授～
10月9日	朝日	がん患者と家族 徹夜でウォーク 岐阜大病院 ～医学部附属病院～
10月9日	岐阜	「がんに負けない」患者, 支援者らチャリティーイベント 400 人, 夜通し歩き交流 ～医学部附属病院～
10月10日	岐阜	◎いま 学校で:校内に新聞掲示, 意見の場 マツダスタジアムの成功に学ぶハンズオン型の工夫を ～教育学部 須本良夫 教授～
10月10日	朝日	学生・教員 地域に密着 20 年 商店街活性化活動も 地元への就職目立つ ～地域科学部～
10月12日	岐阜	岐阜市美術展の入賞・入選 7部門 419 点を展示 ～【彫刻】市展賞 望月鮎佳さん～
10月12日	岐阜	◎夕閑帳:オリーブ油と亜麻仁油 ～岩田弘敏 名誉教授～
10月12日	日本経済	若手事務職員の海外研修
10月12日	中日	岐阜大など産学官が連携 炭素繊維開発で討論

10月12日	岐阜	炭素繊維強化プラスチック「東海北陸を集積地に」岐阜市で大会
10月13日	中日	岐阜大生 柿を学ぶ 大野で収穫や試食 ～留学生 ディスフィットリ・エルダ・ラフミライラさん～
10月13日	岐阜	大野町で農家と岐阜大生が交流 富有柿の魅力知って ～応用生物科学部1年 青山千花子さん～
10月14日	岐阜	特集 岐阜の医療を考える 10月は「乳がん月間」合言葉は検診 GO! ～医学部腫瘍外科学講座 二村 学 准教授～
10月14日	中日	岐阜大管弦楽団出身者らが魅了 各務原で定演 ～「フロイデ室内管弦楽団」定期演奏会～
10月15日	中日	地域ブランドに岐阜大生の力を 養老町、大学が協定
10月15日	岐阜	空き家活用など地域振興で協定 岐阜大、養老町と連携
10月16日	中日	◎主役脇役:岐阜大国際交流会館管理人を12年 留学生の世話が「天職」 ～松岡静典さん～
10月18日	中日	岐阜大 51年前卒業生が美術展 学生時代懐かしみ創作 ～学芸学部美術工芸科(現教育学部美術教育講座)の13期生12人～
10月18日	岐阜	◎研究室から大学はいま:法医学で社会の安全に寄与 ～医学系研究科法医学分野 武内康雄 教授～
10月19日	岐阜	動物の生態や声 子どもに教える ～岐阜大動物園学生くらぶ～
10月20日	中日	子宮頸がん的検診を 岐阜新聞女子 net 岐阜大で出張講座 ～医学部附属病院産婦人科 牧野 弘 臨床講師～
10月20日	中日	◎夕閑帳:血管年齢と老化予防 ～岩田弘敏 名誉教授～
10月21日	岐阜	巨大風船の中によろこ 岐阜大生がビニール袋 300枚で制作 ～教育学部美術教育講座～
10月21日	中日	FC 岐阜2選手 手で稲刈り体験 岐阜大農場
10月21日	岐阜	FC 岐阜選手と稲刈り 岐阜大生、共同で米作り ～応用生物科学部1年 小出一葉さん～
10月21日	中日	地元製造業みっちり学ぶ 岐阜大工学部生が実習 ～「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト」工学部3年 池戸悠介さん～
10月21日	岐阜	企業の課題解決に挑戦 産学金官連携プロジェクト 岐阜大生が実習開始 ～「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト」工学部3年 池戸悠介さん～

10月22日	岐阜	米州立大と交流促進 岐阜大医学部が連携協定
10月22日	中日	南フロリダ大と学生交流の協定 岐阜大医学部
10月23日	中日	英語授業を実施 長良西小が公開 県内外教員ら見学 ～教育学部4年 三品摩記さん～
10月24日	中日	◎さーくるつながる:学生放送研究会 ラジ☆スタ 若者の声で番組作り
10月24日	中日	朝市の役割など調査 東海の学生 180 人 岐阜大で発表
10月25日	岐阜	発明 19 件に助成金 小野木財団が贈呈式
10月25日	岐阜	◎研究室から大学はいま:国際社会にも「法の支配」を ～教育学部社会科教育講座 坂本一也 准教授～
10月25日	中日	巨大バルーン 子ら笑顔 岐阜中央中 岐阜大生手作り ～教育学部美術教育講座～
10月26日	岐阜	◎夕閑帳:墓談議 ～岩田弘敏 名誉教授～
10月26日	岐阜	◎オピニオン:研究力低下の危機 相次ぐ学術論文不正 ～医学系研究科組織・器官形成分野 國貞隆弘 教授～
10月26日	中日	給食テーマに模擬投票 候補者 熱く政策訴え 市明るい選挙推進大会 ～教育学部附属小学校6年生～
10月26日	岐阜	児童, 給食改善へ一票 岐阜大付属小 主催者教育で授業 ～教育学部附属小学校6年生～
10月27日	朝日	岐大生に実学の誘い 人材求める中小企業 若者流出対策で県 ～工学部3年生 160 人～
10月27日	岐阜	岐阜大 生命科学推進へ拠点 「糖鎖」研究センター設置 ～生命の鎖統合研究センター 石田秀治 センター長～
10月27日	中日	最先端設備で糖鎖研究 岐阜大がセンター 認知症治療の役に ～生命の鎖統合研究センター 石田秀治 センター長～
10月27日	岐阜	八百津, 水素活用の町に エネルギー自給自足の仕組み, 国事業採択
10月28日	中日	笠松小が“美術館”に 出展社が訪れ作品を解説 ～教育学部辻 泰秀 教授～
10月28日	中日	地震に備える住まいづくり ～毎年10月28日は「岐阜県地震防災の日」～ ～地域減災研究センター 能島暢呂 センター長～
10月29日	岐阜	東海環状道整備促進を JA ぎふ, 岐阜大病院が要望 ～医学部附属病院高次救命治療センター 小倉真治 センター長～
10月29日	岐阜	濃尾地震 125 年 語り継ぐ 市民ら防災・減災学ぶ 震災記念堂で法要, 講演 ～工学部 杉戸真太 教授～

10月29日	中日	ドローン使い方学ぶ 岐阜大 県内の土木行政職員
10月30日	岐阜	◎サンデーコラム:「若返り」進む高齢者 余命から見た超高齢社会 ～医学系研究科 大森正英 講師～
10月31日	岐阜	◎夕閑帳:仏教と経と音楽 ～岩田弘敏 名誉教授～
10月31日	岐阜	医療従事者が意見交換 高山市で県病院協会医学会 ～医学系研究科 清水雅仁 教授～
10月31日	岐阜	医療関係者ら集い式典 病児保育施設, 県内設立 20 周年 ～医学系研究科小児科 深尾敏幸 教授～
10月31日	中日	地域医療 担い手確保を 県病院協医学会で意見交換 ～医学系研究科 清水雅仁 教授～
10月31日	岐阜	◎教えてホームドクター:女性に多い手荒れ 家事で潤い物質流出 ～医学部附属病院 高橋智子 臨床講師～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成28年10月掲載分)

放送日	番組名	内容
10月17日	FM わっち 「岐阜大学からこんにちは」 12:41～13:00	教育学部 原田 憲一 教授 教育学部 3年 赤松 諒一さん
10月28日	フジテレビ「ユアタイム」 23:30～24:25	乳がんと戦う女性に密着取材 医学系研究科 二村 学 准教授

◇ 第6回授業編成専門委員会

10月3日（月）

（審議事項）

1. 平成29年度非常勤講師採用計画について
2. 平成29年度新規開講科目について
3. 平成29年度開講授業計画（案）について
4. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について

◇第545回 役員会

10月6日（木）

（議事）

1. 岐阜大学と養老町との包括連携協定の締結について
2. 教育職員雇用事前協議について

◇第6回 部局長・部長会

10月6日（木）

（協議事項）

1. 新たな教育職員研修制度について（案）

◇第152回 教育研究評議会

10月13日（木）

（審議事項）

1. 国立大学法人岐阜大学教育研究力向上研修実施要項の制定について

◇第7回教学委員会

10月18日（火）

（審議事項）

1. 岐阜大学大学院学則及び岐阜大学学位規則の改正について
2. 「岐阜大学における3つの方針」について

◇第6回入学試験専門委員会

10月26日（水）

（審議事項）

1. 岐阜大学大学院学則の一部改正（案）について（継続審議）
2. 岐阜大学大学院入学資格に関する規程（案）について（継続審議）
3. 岐阜大学オープンキャンパス2017の日程（案）について

◇第546回 役員会

10月27日（木）

（議事）

1. 国立大学法人岐阜大学教育研究力向上研修実施要項の制定について
2. 平成28年度執行計画について
3. 教育職員雇用事前協議について
4. 教育職員雇用申請について
5. 懲戒処分事案について

主要日誌

月 日	行 事 名
10 / 3	第6回 授業編成専門委員会 連合農学研究科(秋季)入学式
6	第545回 役員会 第6回 部局長・部長会
12	研究科委員会(臨時:教) 教授会(看・工・メディア)
13	第152回 教育研究評議会
18	第7回 教学委員会
18	研究科委員会(連創)
19	教授会・研究科委員会(教・地・医・応)
21	代議員会(連農)
26	教授会(生・流・留) 第6回 入学試験専門委員会
27	第546回 役員会